



建設だより

市民病院整備事業 地域版 第20号 2017・3

「仮設管理棟（旧看護師宿舎）」の耐震補強工事に着手します

市民病院整備事業では、耐震性の問題から当初解体の予定であった仮設管理棟（昭和56年竣工、鉄筋コンクリート造地上4階建て、延床面積約1,729㎡）の、1階と2階の耐震補強工事などを行い、病院の事務スペースやカルテなどを保存する倉庫として使用することになりました。

新館は竣工しましたが、病院機能の強化により、スタッフの更衣室や事務作業などに必要なスペースが不足するため、既存建物を利用することとしました。

耐震補強工事は、騒音、振動を伴いますので、近隣の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご容赦いただきますようお願い申し上げます。

工事は、平成29年3月から6月までの約4か月を予定しています。



仮設管理棟（南から撮影）

西側通路に仮設屋根が完成しました

これまで、仮設のタクシーロータリーから新館西玄関までの通路に屋根がなく、雨の日は車椅子利用者の方々など、多くの皆様にご迷惑をおかけしていました。

本年2月に仮設屋根の設置工事が完成し、タクシー3台、一般車等3台の乗降場も設置しました。



西側に設置した仮設屋根（北から撮影）



仮設ロータリー（南から撮影）
※少し広くなりました。

本館3～5階A病棟の改修工事に着手しました

本館（旧北棟）3～5階の病棟部分の主な改修内容は、先に完成し使用を開始したB病棟と同様、病室内の壁クロス貼り及び天井とドアの塗装、個室トイレの段差解消、また、浴室は浴槽を撤去し、内装を改修、車椅子用トイレの増設、トイレ内間仕切りの変更、新規便器への交換等を行っています。

A病棟の完成は平成29年6月を予定しています。



【改修工事が始まっています（5A病棟）】